

芝生で遊ぼう ～五明幼稚園～

人との関わりをつくり出す芝生（1月）

1月に入り、雪が積もる日も増えてきました。芝生の上だけ雪が積もったり、芝生の上だけ雪が解けていたり…。日によって違う様子に、子供たちの不思議に思う気持ち、理由を考えようとする気持ちが生まれ、自然現象により心揺さぶられる、貴重な体験の一つとなっています。



小学校の休み時間には、毎日のように児童や小学校の先生が遊びに来てくれて、芝生の上が自然な交流の場として活躍しています。プールに張った氷を次々と取ってくれるお兄ちゃん。面白い形の氷を見付け、プレゼントしてくれるお姉ちゃん。児童との心温まる関わりの中で、人と関わる喜びを味わい、思いやりの気持ちを育てています。

普段は土の色と見分けが付かなくなっている芝生も、一たび雪が降ると、その存在が目に見えて浮かんできます。幼児たちの好奇心、探求心はふくらみ、その気持ちは「誰かに聞いてみよう」とする姿につながっています。冬枯れの芝生も、人との関わりを生み広げる確かな力を発揮してくれています。

5歳児にとっては園生活も残り約2か月となりました。生きる力の基礎を培う大切な時期である幼稚園生活をより充実していけるよう、「園庭に芝生があることの良さ」を引き続き生かしていきたいと思えます。